

平成27年度 第3回 安曇野市協働のまちづくり推進基本方針
及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会 会議概要

1	審議会名	平成27年度第3回安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会
2	日時	平成28年2月9日 午前9時30分から午前11時30分まで
3	会場	本庁舎 4階 大会議室西
4	出席者	中田委員、熊井委員、栗田委員、内川委員、大神委員、宗像委員、青柳委員、小河委員、初谷委員、花岡委員、宮澤委員、遠藤委員
5	市側出席者	宮澤地域づくり課長、高山まちづくり推進担当係長、齋藤まちづくり推進担当主事、川上まちづくり担当主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人（途中退出） 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成28年2月10日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 報告事項
 - ① 平成27年度先進地視察研修の概要について
 - ② その他
- (4) 議事
 - ① 協働計画に基づく個別施策の進捗状況について
 - ② 個別協働事業の事業概要及び事業評価について
 - ③ その他
- (5) 閉会

2 会議事項概要

- (1) 開会（進行：栗田副会長）
- (2) 会長あいさつ（内川会長より）
- (3) 報告事項
 - ① 平成27年度先進地視察研修の概要について
 - 【事務局】平成27年度先進地視察研修の概要について説明
 - 【委員】視察そのものはとても有意義なもので、安曇野市が目指すべきものだと感じます。ただ、バスのアクシデントに見舞われたということで、拘束時間が長く、他の会合等をキャンセルせざる負えなかった。これに対する手当や対応はどんなものだったのかお聞かせ願いたいです。
 - 【宮澤課長】：委員の皆様方にご迷惑をおかけしてしまい、心からお詫び致します。車両保険は加入していますが、委員の皆様に対する保険の適用はなかったということをご報告いたします。

【委員】：委員も負担を負って出席している。もともとそういうことはないという想定で保険に加入しなかったのかですか。それとも車両保険に限定して入ったのかどちらですか。

【事務局】 全市的な決まりでもあるためしっかり調べ報告させていただきます。

② その他

(4) 議事

① 協働計画に基づく個別施策の進捗状況について

【事務局】 協働計画に基づく個別施策の進捗状況について説明

【委員】「協働」推進していくためには市の職員の理解が重要になると思いますが、職員の実践研修のあり方はどのようになっていますか。確実に職員全員が受けるような工夫をされていますか、また何を持って評価していますか。

【事務局】 職員研修につきましては、全職員対象ということは当然取り組んでいかなければいけないと思いますが、本年度の実績として全2回実施しております。1つは新規採用職員対象に行っています。協働のあり方、どういう人間関係、仕組みを作っていくのかまで踏み込んで実施しました。もう1つは、市民の皆さんに最も近い「区」について行いました。区への依頼事項が多い担当課へ「区マニュアル」設置の背景や市と区のあり方について実施しております。なかなか成果は見えませんが、二度三度研修してアンケート形式等で成果を確認していきたいと思います。なにかこういった方法があればというものがあればご意見を頂ければと思います。

【委員】 実際に研修した職員は、市から区へお願いすることがある職員ということでしょうか。全職員対象ではないということでしょうか。そうすると、全く触れない職員もいると思います。実際現場に行って推進する場合も目的がないと行動もできないと思います。1回研修すればいいものでもありません。みんなが同じ方向に向けるように、少なくとも知らないというふうにならないように協働出来る体制をどう作り上げていくかという仕掛けを作っていくことが必要だと思います。

【事務局】 全職員対象は必要だと思います。今年度につきましては、自治基本条例制定に向け全職員対象の研修を行っております。たしかに、研修を聴けば理解できるというのは難しいかと思いますが、各部署で行っている協働事業をきっちり検証し、ノウハウ等も実践に基づいてお話できればと思いますが、それだけでは足りないため、いただいたご意見を参考にしていきたいと思います。

【委員】 協働推進を図る中で政策部も巻き込まなければ全てやっていけないと思います。「まちづくり」ということに流れを持っていけば、花街道など自分たちが日頃取り組んでいることが「協働」であるということ理解してもらえんと思います。

【事務局】 おっしゃるとおり協働はあくまでも「まちづくり」の一つの手段だと思います。全体的な視点で推進を図っていきます。

【委員】 支所の活用をもう少し考えるべきだと思います。

【会長】 各支所にまちづくり専門の方の配置をということがありましたが、現実的にいかがですか。

【事務局】地域の課題解決のため、協働のまちづくりの原点である公民館も補助執行という形で各支所、公民館が連携してまちづくりを担っている状況です。

【委員】市区長会専門部会とはどういうものですか。

【事務局】近年、地域課題の内容が多様複雑化してきている中、市区長会としてはまずそれぞれの区で課題解決を行い、区だけでは解決できないものを地域区長会で課題出来ればと思います。そこで解決できないものは、まちづくり推進会議というような形で全市的に課題解決に取り組んでいけたらと思います。

【委員】27年度、専門部会を設け熱心に取り組まれていることは、この3年間で大変進歩されたと思います。協働のまちづくりは市と市民の取り組みだと思います。未加入者に対しての対策は、この委員会での課題となると思い、今後私も私なりに取り組んでいきたいです。

【会長】他にご意見はございますか。なければ次に進めたいと思います。

② 個別協働事業の事業概要及び事業評価について

【事務局】個別協働事業の事業概要及び事業評価について説明

【会長】このことについて何かご意見はございますか。

【委員】協働事業が23件あるということだがおおむね評価できると思います。主旨が徹底するような会議を持ちながら実行していくことが良いです。主旨が徹底されなければ、各担当課だけで行ってしまっているということではないでしょうか。私も何件か関わらせていただいたがそのほかは知りません。そこを改善していけたらと思います。これから事業の反省、評価があると思いますが、いろんな工夫をして広く市民にフィードバックするのが良いです。事業に参加された方はみんな賛同しています。各地域の住民に広めることが必要です。

【事務局】評価の仕組みは、協働事業に対して委員会で出た意見をそれぞれの担当課にフィードバック出来ればと思います。

【委員】計画の中に、協働事例として18掲載していますが、その事業が継続していますか。大事なものがいくつか抜けている気がします。整合性はどうなっていますか。

【事務局】冊子のものは、当然協働事業として掲載させていただきました。一つ一つ確認しながらまたご報告できればと思います。

【委員】18の中の継続しているものを、ぜひ取り上げていただきたいです。ここに掲載されていないものもあります。協働事業の網羅の仕方も考えていけたらと思います。

【事務局】さまざまな情報ご意見をいただければと思います。よろしくお願い致します。

【委員】掲載されている全てが大切なものであります。一般市民の方にとっては当たり前にやってきたことが掲載されています。協働のまちづくりということは、そういうことだと思います。どこがうまくいってなくて協働でやっていく必要があるのかということをしつかりとしなければ、市が多く出ると、市民は市に任せてしまいます。分析をしつかりし、具体的な事例を通して、「まちづくり」がうまくいくということを書くよりも一緒に課題解決していくことが一番必要です。身近な課題をこつこつやっていくことを新年度に入れていけたらと思います。

【委員】いくつかの事業が行われていて、いくつかの事業が報告ありましたか。評価は4段階であくまで主観的なものだと思います。客観的に評価できるように数値目標を入れるのが良いです。コストパフォーマンスも大事だと思います。いくら市からお金出ていますか。参加人数はどれぐらいですか。数値が全てではないですが、一番客観的評価になると思うため、評価シートを改善していただきたいです。また、今後の改善欄に記載のないものがたくさんある。これはぜひ記載していただきたい。【事務局】実施計画に記載されていないものも含め提出いただくように求めているため、総数を把握するのは難しいです。しかし、よりこの仕組みは改善していきたいと思います。もう1つ、数値目標という点だが、客観的な評価ができるものを付け加えていくのはいかがですか。費用対効果も大切ですが、協働評価のためしっかりと役割分担ができるようにヒアリング等も実施するのが良いと思います。

【委員】市民活動の発表の場を年に何回か行うことで、活動を行う方も自信が持てると思いますがいかがですか。

【委員】地元を持ち帰ってフィードバックという話はそれに繋がる場所があります。活動するだけでなく、評価をしてもらうことも求めています。それがないと立ち消えになってしまいます。市として受け止めたよという姿勢も必要です。何かのイベントにくっつけてもいいと思います。

【委員】協働のフォーラム等素晴らしいイベントがあります。広く市民に周知出来るようにもう少し工夫をしていくのが良いです。協働に取り組むバランスの問題として、「学」の教育機関が落ちている気がして気になります。また、区などの自治会が苦勞されている状況を盛り込んでいただく事をお願いします。

【委員】「協働」という言葉が理解されにくいです。地域に帰って広げようとしても「協働」とはどういうことかというようになります。市から発信する文書等を一般市民がより理解できるように簡単な言葉で取り上げていただきたいです。

【会長】以上でよろしいでしょうか。さまざまな意見をいただきました。来年度に反映出来るように事務局で取りまとめをお願いします。

(5) 閉会

以上